

暮鼓 晨钟

日语短篇诵读精粹

第二辑

上海大学出版社

总主编 吴侃
总顾问 皮细庚
总策划 许家骏
本册主编 董年

晨 钟 暮 鼓

日语短篇诵读精粹

(第二辑)

总 主 编 吴 侃
总 顾 问 皮细庚
总 策 划 许家骏
本辑主编 童 年
编 者 刘雪飞 贺亚茹 马文心

上海大学出版社

· 上海 ·

图书在版编目(CIP)数据

晨钟暮鼓：日语短篇诵读精粹，第二辑/童年等编著. —上海：上海大学出版社，2018. 7

ISBN 978-7-5671-3158-3

I. ①晨… II. ①童… III. ①日语—语言读物 IV. ①H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2018)第 132092 号

责任编辑 王悦生

封面设计 缪炎栩

技术编辑 章斐

晨钟暮鼓——日语短篇诵读精粹(第二辑)

童年 编著

上海大学出版社出版发行

(上海市上大路 99 号 邮政编码 200444)

(<http://www.press.shu.edu.cn> 发行热线 021-66135112)

出版人 戴骏豪

*

南京展望文化发展有限公司排版

江苏德埔印务集团公司印刷 各地新华书店经销

开本 80mm×1240mm 1/32 印张 8.25 字数 207 千

2018 年 7 月第 1 版 2018 年 7 月第 1 次印刷

ISBN 978-7-5671-3158-3/H·348 定价 34.00 元

总 前 言

今年将迎来我国改革开放 40 周年,而我国的外语教学与学习随着改革开放的推进而得到长足发展。日语的教学与学习构成我国的外语教学与学习中的重要部分,并已经积累起了丰富的经验。目前,学习者众多,教学水平不断提高,在世界上的二语习得中也占领了高地。

学习日语需要大量的阅读,从中学习单词、语法、固定搭配、习惯性表达方式等等。同时,通过阅读的文章了解日本社会,包括日本的传统文化和当前日本社会状况。这也符合我国推进“一带一路”、促进国际上的互联互通的基本国策。具体而言则是促进与日本的相互了解和沟通。本日语短篇阅读读物系列就是基于这一目的推出的。

本日语短篇阅读读物系列精选了日本的各个方面的短篇篇文章。内容涵盖日本传统文化、著名童话故事、反映日本社会现状的文章、青春小说、励志小说等。其中不乏我们已经耳熟能详的内容,更加有利于引发阅读、学习的兴趣。还加入了普通人写的推美文,这些文章更好地反映一些口语化的表达。这些表达有较多的省略、缩略等,历来是我们学习日语中的难点。

本日语短篇阅读读物系列中的文章不但富有启发性,而且生

动活泼,充满趣味性。除了可以集中阅读外,也可以充分利用碎片时间阅读,以提高时间利用效率。

本日语短篇阅读读物系列适用面广,适合高校日语专业学生、日语二外学习者、日语爱好者、培训机构日语学员和日企工作者等阅读。

总主编 吴 侃

总顾问 皮细庚

2018.3

序

你有多久没有朗读了？很久了吧？！年幼时的朗读，也许随着年龄的增长，被我们放置在记忆的一角落满灰尘。身处在信息碎片化的时代，有许多事情已经是我们淡忘的了，比如写信，比如朗读，人们或许不再有，也不愿花那么多的时间和精力去品味文字的魅力和力量。但是，如今随着《朗读者》《见字如面》《中国诗词大会》这样的节目播出，让大家不禁有一种恍如隔世的久违之感，也产生了发自内心的共鸣。这个时代需要人们重塑内心，需要人们重建观念。我们期待着朗读能从一种现象，变成生活的常态。在这样的时代呼声之下，《晨钟暮鼓：日语短篇诵读精粹》系列丛书应运而生啦！

作为一线的日语教育者，同样希望通过《晨钟暮鼓：日语短篇诵读精粹》系列丛书唤醒日语学习者心中对学习的渴望。长期坚持日语诵读，就会从感性上、直觉上、整体上去认识、感知、体验日语文字的精髓；长期坚持日语诵读，就能养成眼到、口到、耳到、心到的良好学习习惯。教育界的老前辈、学识渊博的叶圣陶先生曾经说过：“吟咏的时候对于探究所得的不仅理智地理解，而且亲切地体会，不知不觉之间，内容与理法化而为读者自己的东西了，这是最可贵的一种境界。”可见朗读绝不仅仅是让文字发出声音，更

是让文字内化进我们的精神领域中。

《晨钟暮鼓：日语短篇诵读精粹》系列丛书在上海大学出版社的精心策划下目前已推出第一、第二辑，第三、第四辑亦在酝酿中。众所周知，外语学习者除具备扎实的语言功底外，更应具备一定的文化底蕴和综合素养，而综合素养的培养更是离不开阅读和诵读的习惯。该系列丛书作为上海大学出版社即将推出的新时期日语系列教材的先行者及助力者，希望它能走进日语学习的课堂及日语学习者的生活，希望每一位日语学习者能够邂逅《晨钟暮鼓：日语短篇诵读精粹》系列丛书。在本日语短篇阅读读物系列的成书过程中，总顾问皮细庚教授对于本书给予了许多建设性的建议和指导，总主编吴侃教授为本书的纠错和润色付出了辛勤的劳动，总策划许家骏博士为本书的付梓辛劳奔走，在此一并向他们表示感谢。

日语诵读属于每一位日语学习者，用朗读和文字带我们走进丰富的情感世界吧！

章虹

2018. 4. 3

前 言

为提高日语学习者的阅读兴趣,培养良好的阅读习惯,丰富阅读素材,特选取内容生动、贴近现实、有助于日语学习者理解日本文化和社会的题材,构成《晨钟暮鼓:日语短篇诵读精粹》系列丛书。

本书为第二辑,内容由童心童语、无悔青春、岁月如歌及人生百味四个板块组成。

童心童语板块主要收录了以日本童话作家小川未明为代表的故事短篇,内容浅显易懂;无悔青春板块节选了《窗边的小豆豆》《一公升的眼泪》《佐贺的超级阿嬷》等在中国也家喻户晓的励志类人物传记;岁月如歌板块汇集了近几年热播的《四重奏》《求婚大作战》《情书》《千与千寻》等日本电视剧及电影中的经典台词;人生百味板块则以由芥川龙之介、宫泽贤治、志贺直哉等日本著名作家的作品节选构成。

为方便读者阅读,每篇文章在人名、地名及较难读的生词上标注了读音,并参照《日本語能力考试出题基准》,为部分能力考试N3级别以上的语法条目作了注释,旨在起到学习、复习和巩固语法基础的作用。此外,所有的短文均配有中文译文。

每天20分钟,无论是清晨,还是深夜,从一本《晨钟暮鼓:日语短篇诵读精粹》开启良好的日语阅读习惯。

目 录

一、童心童语

田舎のお母さん	3
教師と子供(上)	8
教師と子供(下)	12
世の中のこと(上)	16
世の中のこと(下)	20
風	24
雪子さんの泥棒よけ	28
気の毒な奥様	32
青葉の下	36
月見草	40

二、无悔青春

0点のテストと、満点の作文	47
うどんと、ミカンと、初恋と	53

初めての駅	60
誕生	66
星占い	72
乙女のバカ心	78
告白	84
決断	90
貧乏人が一番やれることは、笑顔だ	97
人生、総合力だ	104

三、岁月如歌

人生の三つ坂	113
愛しい人よ	120
可愛いお嫁さんになりたい	127
伝えたい気持ち	135
病気はどうして私を選んだの?	142
心ない視線	148
天国への手紙	154
未来の桜を見る君へ	160
いのちの名前	167
桜花抄	174

四、人生百味

一房の葡萄	183
注文の多い料理店	189

白·····	196
二人の兄弟·····	203
魔法の橋·····	209
赤い蝋燭と人魚·····	216
黄金鳥·····	223
納豆合戦·····	230
手袋を買いに·····	237
清兵衛と瓢箪·····	243

一、童心童语

田舎のお母さん

教師と子供(上)

教師と子供(下)

世の中のこと(上)

世の中のこと(下)

風

雪子さんの泥棒よけ

気の毒な奥様

青葉の下

月見草

田舎のお母さん

小川 未明

奉公^①をしているおみつのところへ、田舎の母親から小包^{こづつみ}がまいりました。開けてみると、着物がはいっていました。

そして、母親からの手紙には、「さぞ^②、おまえも大きくなったであろう。そのつもりで縫ったが、からだによくあうかどうかわかりません。とどいたら、着てみてください。もしあわないようでしたら、夜分でもひまのときに、なおして着てください。」と、書いてありました。

おみつは自分のへやに入って、お母さんから送ってきた着物をきてみました。田舎にいるときには、お正月になってもこんな着物をきたことがなかったと思いました。しばらく自分のすがたに見とれていました^③。

ちょうどそこへ、坊ちゃんが外からたこをとりに入ってきて、おみつのようすを見たので、「みつ、それを着ると、なんだか田舎の子みたいになるよ。」とって、笑いました。

おみつも、田舎では美しいのであろうけれど、都ではみんながもっと美しい着物を着ているから、あるいはそう見えるかもしれないと思うと、急にはずかしくなって、

「なぜ、お母さんはもっと派手なのをおくってくださらなかった

たのだろう？ わざわざ送ってくださらずとも^④、自分が好きなのをこちらでこしらえれば^⑤よかったのに…。』と、心でいいながら、着物をぬいで、行李の中へしまっていました。

晩になって、お仕事がおわりました。彼女は自分の部屋へは行ってひとりになると、しみじみ^⑥として田舎のことが考えられました。行李から着物を取りだしました。

村からあの峠^⑦をこして母親が町へ出て、機屋^⑧でこのたんもの反物^⑨を買い、家に帰ってからせつせと^⑩縫って、おくってくださったのです。そう考えると、また、いくたび^⑪かこのぬいかけた着物を手にとりあげて、「娘にあうかしら？」と、首をかしげて見入られたであろう母親のすがたさえ、目にうかんでくるのでした。

おみつは、お母さんの手紙を着物の上で開いて、もう一度読みかえしているうちに、あつい涙が、おのずと^⑫目の中からわいてくるのをおぼえました。

「せつかく、送ってくださったのを、気に入らないなどいって、ばちがあたるわ。」

そう思うと、彼女は心からありがたく感じて、すぐにお礼の手紙を書いて、お母さんに出したのです。



注釈

①【名詞】奉公：その家に住み込んで、召し使われて勤めることを表す言葉。（在雇主家里受其使唤做工；佣工，长工）

②【副詞】さぞ：直接見聞していない他人の心中・状態についてこうに違いないと思いやる意を表す。（一定……吧，想必……吧）

③【動詞】見とれる：心を奪われてうっとりとする。(看得人迷,看呆了。呆呆地瞅着。)

④【文型】～ずとも

◎解説：「…しなくても」の意味。あとに「わかる」「いい」などの表現が続く。

◎例文：そんな簡単なことぐらい聞かずとも分かる。/这么简单的事情不用问都知道。

⑤【動詞】拵える：物を作り上げる。製作する。(做,制造)

⑥【副詞】しみじみ：心に深く染み入るさま。(痛切,深切。形容滲入内心深处的感觉。)

⑦【名詞】峠：尾根の鞍部を越える山道を登りつめた所。道はそこから下がりになる。(山口,垭口,隘口)

⑧【名詞】機屋：機を織ることを職とする家。また、その人。(织布匠,织布工,纺织作坊)

⑨【名詞】反物：和服地の総称。(布匹,衣料。和服料子的总称。)

⑩【副詞】せっせと：休まずに一生懸命に事を行うさま。(切切,心情急迫的样子)

⑪【副詞】いくたび：多くの回数。いくど。(几度,多次。许多回。)

⑫【副詞】おのずと：物事の性質や成り行きに従って自然に
そうなるさま。自然に。（自然地，自动地）



訳文

乡下的母亲

小川 未明

做佣人的小满收到了乡下的母亲寄来的一个包裹。打开一看是衣服。

在母亲寄来的信中写道：你应该也长个了吧。做得大了一些，也不知道是否合你身。收到了穿上试试看。要是不合身的话，即便是晚上，抽空改一下再穿。

小满去自己的房间试穿了一下母亲寄来的衣服。想着在乡下的时候，即便是过年也没穿到过这么好的衣服。小满看着自己的样子都有些入迷了。

这时候少爷正好从外面进来拿风筝，看着小满的样子笑着说：“小满，你穿这件衣服好像变成乡下孩子咯。”

这件衣服要是放在乡下的话也算好看的，可在城里因为大家穿的衣服更漂亮，也或许这件衣服真的很土气吧，想到这里，小满突然感到了羞耻。“为什么母亲就不能给自己寄一件更漂亮的衣服呢？其实就算不寄，在城里置办件自己喜欢的衣服岂不更好嘛？”她一边想着便把衣服脱了，收到箱笼里去了。

到了晚上工作结束后，小满一人回到房间，乡下的事情又一点点浮现上来。小满把衣服从箱子里拿出来。

这是母亲翻过山到市集上的织布匠那里买了布，回到家后赶工做好寄过来的。甚至连母亲一边缝一边举起来比量“女儿穿着合身吗”的样子都可以想象得到。那歪着头看得入神的样子如在眼前。